

正直古墳群現地説明会



令和5年11月18日(土) 13:30~15:30

郡山市文化スポーツ部文化振興課
公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
文化財調査研究センター

【本日の流れ】 ※現地見学会は、事前申し込まれた方のみ参加可能です

1 開 会 (13:30)

2 挨拶

3 概要説明

(移動) ※受付でご案内した番号の公用車に分乗して移動します。

4 現地見学

(移動) ※行きと同じ番号の公用車にお乗りください。

5 解散 (15:30)

1. 正直古墳群とは

正直 B 遺跡と複合する古墳群で、往時は 41 基以上の古墳が 8 つの支群に分かれて存在していたと考えられています。

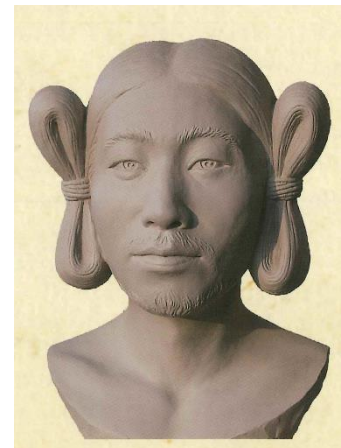
正直 B 遺跡からは竪穴式住居跡などが発見され、集落とこれに伴う古墳の対応関係が明らかな遺跡として珍しく、貴重な遺跡です。また、谷田川を挟んだ対岸に位置している大安場古墳群との関係性など、郡山市の古墳時代を解明する上でも重要な遺跡です。

古墳群は、前方後方墳 1 基、方墳数基と円墳で構成され、築造時期は古墳時代前期～中期（約 1,650 年前～約 1,550 年前）とみなされています。

既に発掘調査が行われたものや未調査のまま墳丘を失ったものもありますが、現在、墳丘状の高まりが観察できるものは 24 基です。

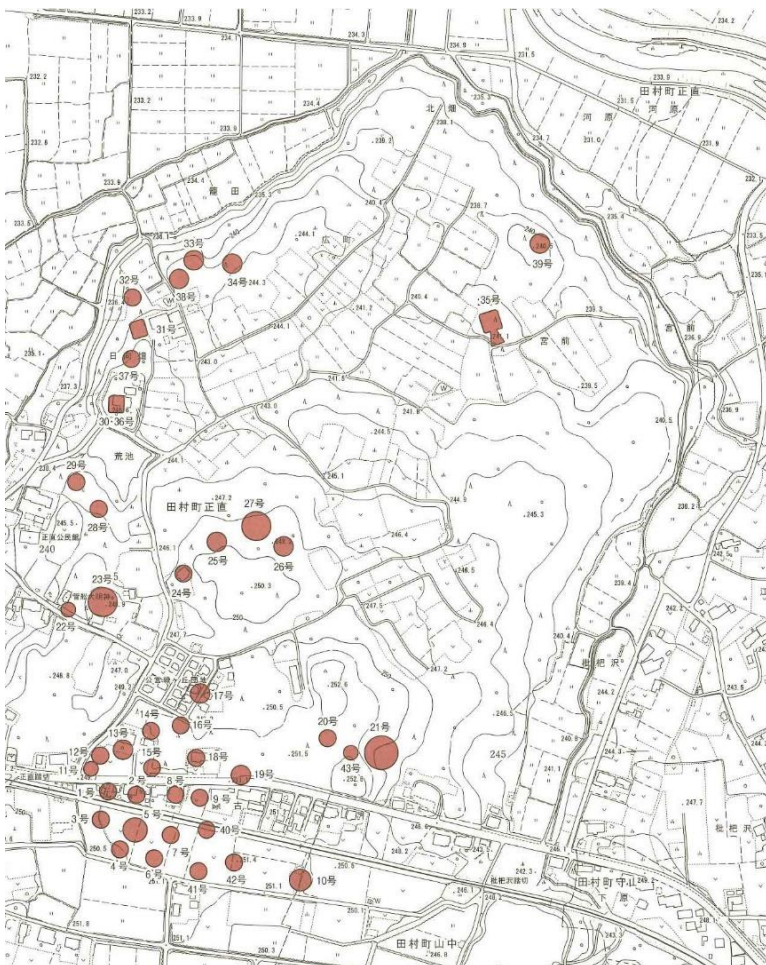
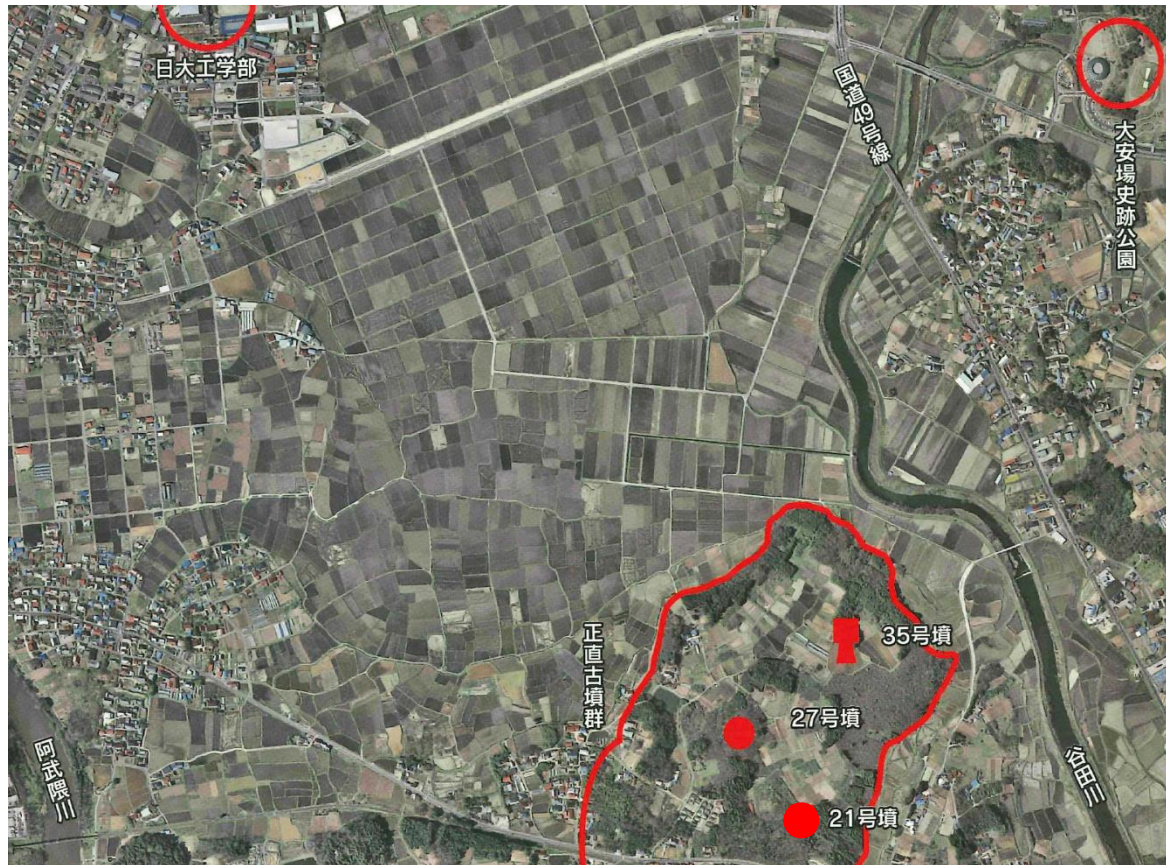
古墳群の中でも大型の古墳からは、「石製模造品」が多数出土しているほか、27 号墳の石棺からは人骨 3 体分が出土しており、うち 1 体の人骨からの復顔が行われ、大安場史跡公園ガイダンス施設に展示されています。

過去に建設・開発行為に伴う発掘調査や学術調査を単発的に行ってきた経過がありますが、郡山市では、平成 29 年以降、文化庁の国庫補助事業として、保存を目的とした発掘調査を継続して実施しています。



(正直 27 号墳被葬者復顔)

【正直古墳群全体と正直 27 号墳の位置】



出典：『正直古墳群調査保存事業
正直古墳群 - 第4次発掘調査-』
(2022年郡山市教育委員会)

2. 支群 B について（調査の成果）

支群 B は、正直古墳群の中央部に位置しており、24～27 号墳が所在しています。

その中でも 27 号墳は、昭和 45 年に発掘調査が実施され、直径 26m の円墳で、石製模造品や人骨、刀剣など多くの副葬品が発見されています。

今年度は、正直 27 号墳の正確な位置や時代の特定、墳丘が消失し位置の特定ができていない 26 号墳の調査を実施し 4 点の成果がありました。

① 古墳の位置の特定

26 号墳【写真①】・27 号墳とされる周溝が検出されたため、それぞれの古墳の正確な位置が確定しました。27 号墳については、主体部である箱式石棺 2 つが確認されており、この棺の位置も不明瞭でしたが、棺の名残が検出できたことからおおよその位置の特定につながりました。

② 新規古墳の発見

この調査の中で、新たな古墳を 2 つ発見しました。1 つは周溝【写真②】を、もう 1 つは主体部と思われる遺構と周溝を検出しました。支群 B は、これまで 4 つの古墳で形成されていると思われていましたが、6 つの古墳で形成されていることがわかりました。

③ 壺棺の出土【写真③】

27 号墳の周溝西端に添うように出土した壺の棺です。この古墳に従属する人物が埋葬されたのではないかと考えられます。

④ その他の遺構の検出

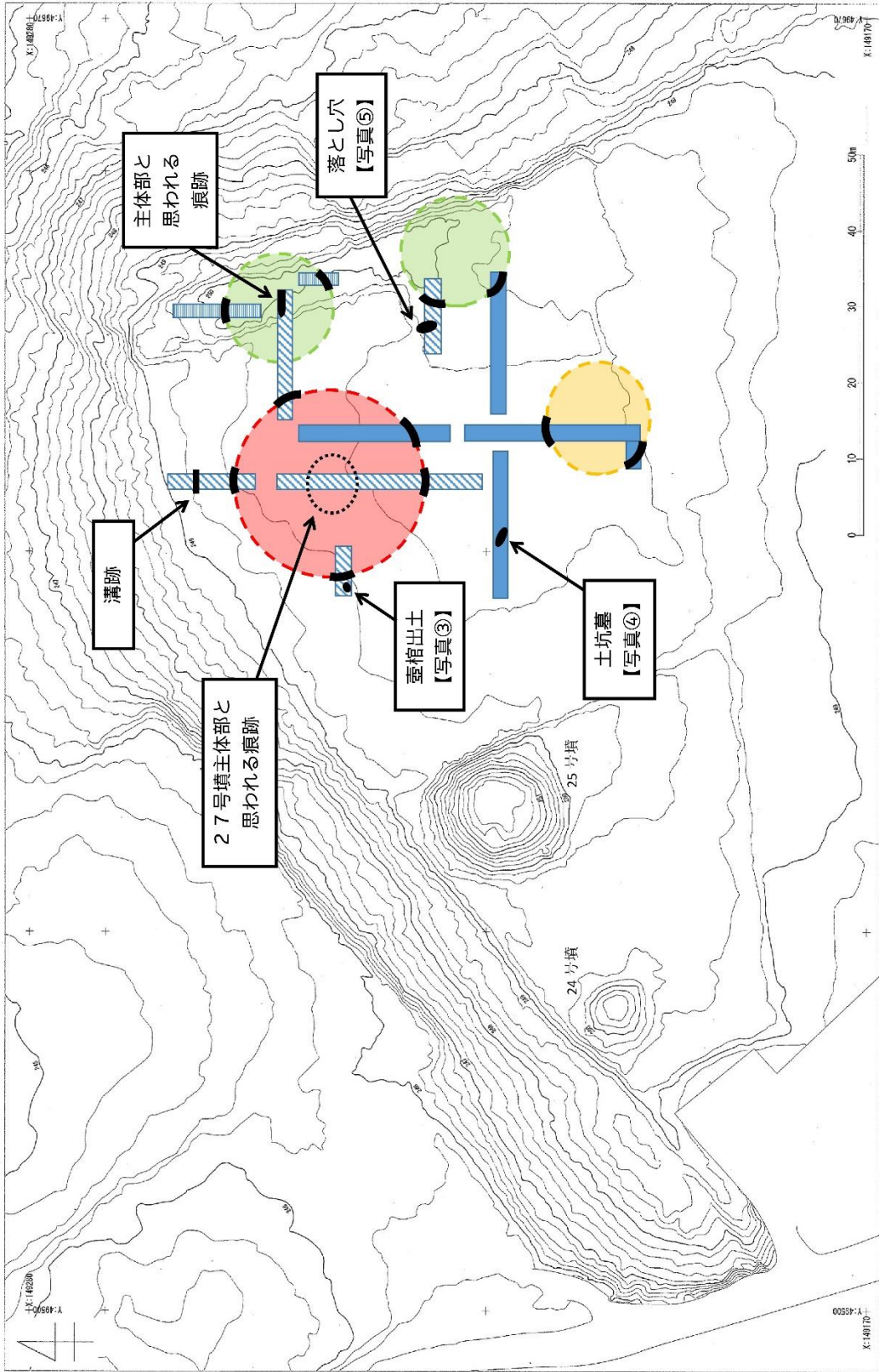
土坑墓【写真④】や縄文時代の落とし穴【写真⑤】、溝跡が検出しています。

【用語説明】

- 古墳・・・・・・・・古代の墓で、土を高く盛り上げ、その中に遺骸を納めたもの。日本では 3 世紀後半から 7 世紀頃にかけて造られた。有力者、地方豪族など、当時の支配者又はそれに準じた身分の高い人を埋葬したものとされる。
- 石製模造品・・・・古墳時代の中期から後期に、滑石など軟質の石を材料にして、各種の器物（勾玉・剣・刀子など）の形をまねて作った祭祀用品のこと。
- 箱式石棺・・・・遺体を納めるための石で作られた棺（ひつぎ）で、箱形に作ったもの。東北地方の中期古墳に多く使われた。

正直古墳群トレンチ位置図

(11月9日作成)



正直古墳群「正直 24・25・26・27号墳」地形測量図



①26号墳の周溝（南から撮影）



②新規古墳の周溝（北西から撮影）



③壺棺の出土状況（南東から撮影）



④土坑墓（南東から撮影）



⑤落とし穴（南東から撮影）

【調査要項】

調 査 期 間	令和5年9月1日～調査中
調査保存懇談会委員	菊地芳朗（会長）・藤澤 敦・玉川一郎
調 査 主 体 者	郡山市教育委員会
調 査 委 託 者	郡山市（文化スポーツ部文化振興課文化財保護係）
調 査 担 当 者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社 （文化財調査研究センター）

※第1次（平成29年）、第2次（平成30年）は、正直21号墳を調査。
第3次（令和元年）～第5次（令和4年）は、正直35号墳を調査。

メモ

Handwriting practice area consisting of 15 sets of horizontal dotted lines.



古代人がくとくん